学会消息

○第一回公開講演会（商学会と共催）
日時　昭和三三年五月八日
場所　第三学舎三〇四教室
「生産性向上問題における海外の実際と我国の現状について」
椿本チェイン常務　大村　利一氏

○第一回定例研究会
日時　昭和三三年六月一一日
場所　第三学舎第一会議室
「イギリスに於ける市の発達について」
本学助教授　荒井　政治氏

引続き、経済学会評議員総会（三二年度決算報告承認の件其の他）矢口・杉原両教授帰朝歓迎会を開催した。

○第二回公開講演会（商学会と共催）
日時　昭和三三年六月一九日
場所　第三学舎三〇一教室（第一部）
天六学舎四三教室（第二部）
「イギリス留学の思い出」
本学経済学部教授　杉原　四郎氏
「欧米留学の思い出」
本学商学部教授　植野　郁太氏

なお、杉原教授の講演は第一部（午後一時より）で、植野教授の講演は第二部（午後六時半より）で行われた。

○上田助手留学歓送会
日時　昭和三三年九月二二日

○第二回定例研究会
日時　昭和三三年一〇月一日
場所　第三学舎第一会議室
「『一般理論』の封鎖体系的性格」
本学専任講師　有田　稔氏

○第三回公開講演会（商学会と共催）
日時　昭和三三年一〇月一〇日
場所　第三学舎三〇三教室
「日本経済の現状」
日銀大阪支店長　三森良二郎氏

○第四回公開講演会（商学会及び経済研究部（学生）と共催）
日時　昭和三三年一一月一一日
場所　第三学舎二一七教室
「国際経済依存関係について」
本学教授　中川庸太郎氏
「イギリス経済について」
大阪通産局長　鹿子木　昇氏

○第三回定例研究会
日時　昭和三三年一一月一九日

場所　第三学舎第一会議室

「現代資本主義に関する若干の見解について」

本学助手　木村雄二郎氏、

○第五回公開講演会（商学会と共催）

日時　昭和三三年一二月五日

場所　第三学舎二一五教室

「中小企業経営の実態」

元早川電機監査役能率研究所顧問　井上好一氏

○第六回公開講演会（商学会と共催）

日時　昭和三三年一二月八日（第二部）

場所　天六学舎四三教室

「民主主義と経済」

大阪大学教授　木下和夫氏

会員の研究活動

昭和三三年度における本学会員の著書、飜訳、本学会誌以外に発表した論文並びに本学会以外の学会で行った研究報告等は次の通りである。

一、著書

松原藤由「経済政策の展開と産業構造」（三四五頁、A五判、法律文化社、三四年一月）

有田　稔「拡大再生産・開放体系の経済学」（一三八頁、A五判、法律文化社、三三年一二月）

二、飜訳

矢口孝次郎訳、アシュリー「イギリス経済史講義」（三一一頁附録五〇頁、B六判、有斐閣、三三年六月）

東井正美（山岡亮一氏と）共訳、ヘイウッド「黒人解放」（二四八頁、A五判、有斐閣、三三年一月）

三、論文

森川　太郎「資本形成と乗数」（金融学会報告第七集、三三年五月）

「資本蓄積と予金量」（バンキング、一二六号、三三年九月）

矢口孝次郎（講演速記）「イギリスの大学」（関西大学学報三二一号、三三年一一月）

市原　亮平「現代史における政治と経済(1)(2)」（近代史研究、三三年一一月号及び三四年一月号）

「人口問題」（その他六十七項目）（東洋経済新報刊「日本近代史辞典」所収）

越後　和典「造船独占資本の復活と膨脹」（大月書店刊「講座現代日本の政治と経済」第二巻所収）

津川　正幸（紹介）「作道洋太郎氏著、近世日本貨幣史」（史泉一二号、三三年一〇月）

「江戸時代における交通と経済発展―隠岐の海運業を中心として―」（史泉一三号、三三年一二月）

吉田　静一「フランス革命における経済思想の原型」（人文学報、三三年三月）

「サン・ジュストの社会理論」（福島大学商学論集、三三年六月号及び九月号）

「フランス革命における経済政策思想」（人文学報、

三三年一〇月）

「モンタニャールとロベスピェール派」（歴史学研究、三四年一月）

上田　昭三、「消費者賦払信用の分析」（東京出版刊　末永隆甫編「戦後アメリカ資本主義の分析」所収）

浜田　文雅「計量経済学および数理経済学の有効性について」（経済統計研究会関西事務局統計学、三三年十一月号）

四、研究報告

矢口孝次郎「産業革命前における毛織物工業の生産工程」（社会経済史学会近畿部会、三三年七月一九日）

荒井　政治、「イギリスにおける市の発達について」（社会経済史学会大会、三三年五月一七日、於京都大学）

市原　亮平「新旧財閥論」（現代史研究会、三二年一〇月一二日）

「転向期社会科学の日本的構造」（現代史研究会、三三年一二月二七日）

「移民母村の過去と現在」（農村人口問題研究会、三三年一一月一〇日）

有田　稔「経済発展における有効需要の問題」（経済学史学会第一八回大会、三三年一一月三日）

高本　昇「経済成長とインフレーション」（金融学会、関西部会、三三年一〇月一八日於和歌山大学）

重田　晃一「初期マルクスの一考察―経済学批判への端緒としての「ジェームズ・ミル評註」を中心に―」（経済学史学会第一八回関西部会、於立命館大学）

吉田　静一「ディドロと保護主義」（経済学史学会一七回大会、三三年五月一一日）

「サン・ジュストの土地制度論」（土地制度史学会三三年一〇月二五日）

浜田　文雅「労仂需要のメカニズムの計量的分析」（日本計量経済学会、三三年一一月三日、於同志社大学）

山本　繁綽「ポラックのメカニズムのトランファー問題への適用について」（国際経済研究会、三三年五月一一日、於神戸大学）